

公募申請R5-3：太陽光発電舗装システム「Wattway」

提案団体	東亜道路工業株式会社、 コラスジャパン株式会社		
道路の課題	<ul style="list-style-type: none"> 道路における電力消費量は、約3,060GWh/年（2013年時点）であるのに対して、道路における再生可能エネルギーの年間発電量（換算値）は約13GWh（2020年時点）であり、電力消費量の0.4%程度 道路空間における太陽光発電施設の設置は、道路構造や交通への支障がなく、比較的設置が容易な場所に限定 		
解決策（アイデア）	既設路面上に太陽光パネルを敷設し、再生可能エネルギー（電力）を創出		
効果	2050年カーボンニュートラルの実現に寄与	道路政策ビジョンとの関連	⑨道路交通の低炭素化
実績等	<ul style="list-style-type: none"> フランスを中心としたヨーロッパ圏内で50箇所以上に設置 日本国内では、民間施設内の駐車場や歩道部、学校敷地内に設置 シェアサイクルやキックボード、およびスマートチェア用の電源として導入 		

提案のイメージ

- 専用の薄型太陽光パネルを既設路面に貼り付けることで、通常の道路機能を損なうことなく、路面で発電

